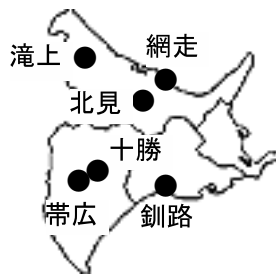


道東地区教会連合会機関誌



道東 44 こ う ほ う 光 報



'DŌTŌKŌHŌ', Newsletter of KONKOUKYOU East Hokkaido reg., No.44 Apr.,2020

新型コロナウイルス感染の脅威

釧路教会 江郷百々代

令和2年新しい年を迎え、世界中の人々が色々な夢、願い事をもちながら、神様に願っていたことでしょう。ある人はオリンピックのこと、ある人は、災害対策のこと、又は健康の願い、等々。喜びの心を、神様に向けていた。そんな1月の半ば、中国から世界へ飛び火した、新型コロナウイルスが、日本へも上陸したのです。毎日、新聞やテレビのニュースはウイルス感染が、主流になっていました。コロナウイルスに感染すると重篤な肺炎になりやすく特に高齢者が感染した場合2週間くらいで死にいたることがあり、とても危険な病です。

世界中にひろがったコロナウイルス感染者は百万人を超えたとも言われています。コロナウイルスに関連する記事は皆さんのほうが詳しく御承知だと思えますのではぶきます。

○

2月に入ると釧路地方にも昨日までに(4月3日までに)11名の感染者が出ています。予防方法には手洗い、うがい、マスクをすること、等々。それに三つの密、密閉、密集、密接。換気をよく、大勢の人が集まるところを避ける、近づいて話をしない。教会では教会長がお広前の換気に気をつけ、密集につ

いては、密集になるほどの参拝者のおかげをいただきたいものですが密接についても密集と同じです。朝参りも教会長と孫の三人ということが多いです。おかげを頂いているのかな。2月の月例祭、春季霊祭も換気もよく、まばらな参拝者のおかげで密集せずお参りができました。

○

教会長の教話に大阪で布教された白神先生の布教当時の出来事だそうです。その時代にはコレラが大流行しておりまして、あそこの神様にお参りするとコレラが良くなると評判になったそうです。大勢の人が、行

列を作るといふ現象まで起こして白神先生の話聞かれ、多くの人々がおかげを頂かれたそうです。助けたいと思う先生と助けたいと思う人々の願いが強くおかげに繋がったのですね。

私は母のことを思い出しておりました。母は戦時中に入信しています。戦中戦後の辛いときに数々のおかけを頂いております。助けたいという先生の思い。助けたいと強く願ひ、信じる母の思い。そのことを私に伝えておりました。その大事なことを忘れずに、私にもできる。コロナウイルス感染を増やさないという努力を続けていかなければと改めて強く思いました。

今朝の新聞の一面にも、世界が新型コロナウイルスに震えています。中国で最初の発症者が出たとされてから四ヶ月。私たちの社会は一変した。感染者は一〇〇万を超え、命や生活、経済の危機が続く。スペインでは人工呼吸器がつけられず救うべき命の選別がはじまっていたと記されてありました。医療者の心の痛みに触れています。この記事を読みながら改めてウイルス感染の怖さを思いました。

いつの時代にも、これから、何が起こるかわかりません。金光様の教えに 生きている間は修行中じゃあ とあります。天地の働きの中に生かされ、守られながら一日も早い感染の収束を信じます。

教会掲示板

教会からあれこれ

北見教会

北見市寿町三丁目五番一号
TEL 〇一五七―二四―七四七四
FAX 〇一五七―二四―七四七四

教会前の駐車場は通り抜け

できるので、大雪が積もっている時を除いて毎日多くの人利用？ 時には車も通ります。その数は驚くほど多いので、勝手に通らせていいのですかという人もいますが、町内の人々のお役に立てるなら有り難いことだと思えます。ですが、私が庭掃除や除雪などをしているときに通る人のほとんどは、お年寄りや小さな子供のごくわずかな人を除いて私が挨拶をしても無言なのです。

2月の中旬に前夜に積もった雪を撥ねていたときのことです。通りがかった若々し

い老婦人が「いつも通らせて頂いて有り難うございます。」と言ひながらバックから八朔を一つ取り出して、「気持ちが悪く感じました。」に、その掲示板にある言葉を読んで励まされていきます。広島から送ってきたものの新鮮ですから」と渡してくれました。特に私に渡すために用意していたわけではなくまたまだたと思うのですが、それでもその心遣いはうれしく、たつた一つの小さな八朔のやりとりが、当時日々増え続ける新型の感染症の恐怖を忘れさせ喜びと元氣を与えてくれました。

今、世界中が新型コロナウイルスの脅威にさらされ、人々はいっしょに果てるとも知らぬ戦いに怯え不安に苛まれています。医療従事者の懸

命の治療にもかかわらず多くの命が失われていく中で、本当に大切なものとは何かを改めて考えさせられます。

自粛、辛抱、我慢、努力、工夫等々かつての戦時下のような言葉が頻繁に行き交いますが、世界中の人々は様々に工夫を凝らし辛く苦しい日常を無駄にしないよう頑張りがらその収束を願っています。私達も、油断せず「われひと共に助かり立ちゆく」ために真剣な祈りと一人一人が自分が必要です。

(矢代)

お知らせ

令和2年度の道東地区教会連合会の研修会、交流会、「運動」集会は中止します。

滝上教会

紋別郡滝上町元町士別通り

ある日、義兄である埼玉県浦和教会の松本光明先生より電話がありました。元滝上村長の鶴巻成章さんという方の百年祭をお仕えするとのことでした。この方のお孫さんが浦和教会のご信者さんの家庭に嫁がれていて、ご高齢になられた今、北国にて亡くなった祖父の事を思い起こされてのことでしょう、百年祭をとの事のようにです。

その様なことで、兼務教会長である私のところに、何か祭詞の材料となる情報を求めている義兄からの電話でした。私も、初めて伺うお名前だったので、滝上の清水さんなら何か分かるか

も知れないと思い、早速連絡をとりました。清水さんもあまりに古いことなのでよく分からないということでしたが、町史にその方の写真があったというので「Eメールで写真を送って下さいました。」

その写真を見ると

「五代村長 自 大正十一年四月、至 大正十二年二月」とあります。一年に満たない在任期間ですが、それもそのはず、在任期間中に札幌にて亡くなられたそうです。

お葬儀は、当時村会議員だった岡本政道先生（初代滝上町長）の計らいで札幌教会で金光教式にて営まれたということです。

滝上にて五代村長を務めた鶴巻氏、その何代目かの後に滝上初代町長になれた

岡本先生、そして鶴巻氏のお孫さんが浦和教会信徒家庭に嫁ぎ、図らずも浦和教会長の義弟が滝上教会の兼務教会長、百年という長い時を巡り巡ってご縁が繋がり今に至っていることを思うと感動すら覚えます。

後日、清水さんより連絡があり、こうした経緯を役場で話されたところ、役場の方もわが町の歴史としてその様なことがあったのかとたいそう喜ばれ役場の方でも調べてみますとのことだったようです。

浦和教会のそのご信者さんもたいそう喜ばれたとのこと、とても良い百年祭をお仕えになられ、霊様もどれほどお喜びになられていることかと思わされます。

神前拝詞の一節

「神縁しんえんまことに不思議ふしぎにして

今この道に出で会^あうをえ得^えたり」
と心に浮かんでまいります。

(菊川)

帯広教会

帯広市東四条南八丁目四番地
TEL 〇一五五―二三一六八三五
FAX 〇一五五―二三一六八三五

今年の初めからインフルエンザ、新型コロナウイルスが流行し、未だ収まることなく、世界、日本、特に東京など勢いも増しておりま^す。先日7都府県に緊急事態宣言が発令されました。北海道も油断なくまだまだ気を引き締めて行かねばと思います。亡くなられた方々の御霊様の立ち行きと感染された方々の回復、更に早期の終息を願うばかりです。4月ようやく暖かくなったので冬囲いを外し、境内に

は牡丹、福寿草など例年より早く新しいのちが芽吹き始めました。天地の大恩を感じ、いよいよ春の兆しが見え始めました。と思いきや9日、重たい雪が降り、一面真っ白になってしまいました。その雪も今日中にも時間と共に消えていきま^す。桜前線も北上し東北まで来ているようです。このように新型コロナウイルスも永遠に続くことはなく医療も進み次第に終息すると願っているところです。3月4日の読売新聞「編集手帳」に次のようなことが載っていました。

安政地震(1855年)の数日後、江戸市中にデマが広がった。「あす再び大地震が来る。早く逃げろ」すると、老齢の女性が言っ

た。「そんなことわかるはずない。そうなら最初の地震も予言できたはずじゃないか?」。聞いていた町民らはたちまち黙り込んだとか。社会心理学者・広井脩さんの著書「うわさと誤報の社会心理」から。

デマの出現は昔から社会の不安が増したときの常であるらしい。

いかにも不穏な何かを耳にしたとき、一度は立ち止まって信頼できる情報源を探すが必要だろう。と言われている。そこで、デマの一例をあげます。「正露丸は新型コロナウイルスに効く」「62度から67度でウイルスは死ぬ」「トイレットペーパー、ティッシュが不足する」など、デマはさもありそうなことを触れ回る特徴がある。

そして尾ひれがつくという。また、人の弱みに付けて「助成金配布」「マスク無料送付」「下水道管が汚染」など悪徳商法が相次ぐようです。社会全体が新型コロナウイルスの影響で「デマ」「悪徳商法」など蔓延しております。デマと同様早急な判断をしないよう見極めなければと思います。

4月、5月は会社や各種団体などの総会、子供達の卒業式入学式、歓送迎会など開催される予定でありましたが、濃厚接触を避けるために延期や中止を余儀なくされています。

御本部においても天地金乃神大祭は4月5日、職員のみで仕えられ、参拝者は遙拝、また月例祭も同様に仕えられています。それぞれの教会においては、換気

を良くする、多数集まらない、間近で会話をしない、手洗い、消毒など工夫をさ
れの月例祭、諸行事、御大
祭を仕えられると思います。
帯広教会でもこのようなこ
とに加えて時短を含め仕え
ようと思います。

改めて今できることを考
え、天地の大恩、そして今
日のいのちをいただいたこ
とに対してお礼の御祭りを
心を込め仕えたいと思いま
す。

(田中)

網走教会

網走市北四条西一丁目六番地
TEL ○二五二四三三三九五四
FAX ○二五二四三三三九五四

明治期に作られた「民度」
という言葉があります。最
近ではインターネット上で
主に使われていて、国や地
域に住んでいる人々、ある

いは特定の集団にいる人々
の知的水準、モラルの高さ、
文化水準の高さのことを意
味します。

東日本大震災のとき、商
店などへの人々の略奪行為
や暴動は皆無(ただし、他
からやって来て火事場泥棒
などする者は居た)、我先
に支援物資を奪い合う事も
無く、整然と並び順番を待
つ被災者の姿は、当時、世
界中から注目され、類い希
なる民度の高さであるとの
評価を得たことは有名です。

今でも覚えているエピ
ソードがあります。ある
避難所へアメリカの部隊に
よって支援物資が運ばれた
ときのことです。

その避難所では物資は充
分にあるので、他の困って
いる避難所へ上げて下さい
との返答に、担当したアメ

リカの兵士は大変驚いたと
います。また、常に感謝
の言葉を被災者からかけら
れて、返ってこちらが元氣
をもらったというような話
もあり、モラルの高さ、ひ
いては文化度の高さに驚い
たとのことでした。

四月七日緊急事態宣言が
出された日本ですが、「我
先に」と食料を買い込む
人々の姿や、マスクを巡る
トラブル、デマに踊らされ
て買い占められたトイレッ
トパーパー騒ぎなどに至っ
ては一九七三年のオイル
ショック時を彷彿とさせま
す。

東日本大震災で見られた
民度の高さは幻だったのか、
一九七三年のまま、わが国
の精神文化は一步も進んで
いないのか、愕然とします。
さらには感染症拡大時必

ず横行するものとして差別
の問題もあり、感染者や医
療従事者、その近辺にいる
方々への差別も広がってい
ます。それらの方がどれほ
どの思いでコロナと戦って
くださっているか、感謝こ
そすれ差別などもつてのほ
かと言わねばなりません。
胸が痛みます。

しかしながら、もし私に
信心が無かったならば、私
も民度を下げる側になっ
ていたかもしれません。天地
の神様の喜ばれる生き方を
求める、そうしたわが道の
信心があるからこそ、なん
とか保ち得ています。

道の信奉者は約四〇万人。
その一人一人が、神様の喜
ばれる生き方を求めている
のですから、こんなに心強
いことはありません。

我々信奉者は、今こそ、

教祖金光大神様が現し下さった、永遠に変わらぬ価値観をもって、新型コロナウイルスに惑わされることなく、負けることなく、より一層に信心を進め求めてまいりましょう。

(菊川)

釧路教会

釧路市宮本一丁目五番二二号
TEL 〇一五四―四一―三五一
FAX 〇一五四―四一―三六一

「神様のお繰り合わせ」

新型コロナウイルス感染が拡大してゆくなか、百々代と偶然同じことを考えていた。志村けんさんが亡くなり、そのお兄さんという人の言葉からだった。

うち母はおかげ頂いたね。だった。母は平成27年2月27日に帰幽された。そのお葬儀自体は順調に終わり田中敬一先生と玉置衛先生は

どうやら帰られたようだが、祭員の先生方と菊川松次郎先生は帰ることができなかった。猛吹雪である。

札幌方面の汽車が運休、道東方面は道路も封鎖だったようで、全員前の晩に用意したホテルに予約ができたようで、もう一泊することになり、先生方にはご迷惑をお掛けした。

母は、今年五年の式年祭に当たっているが、母の命日は、釧路の氣候がどうなるか解らないので、暖かくなってからとは話し合っていたのだが、このコロナで今年中は出来そうもない。

そこから、母の晩年を思い出す。母の誕生日は大正3年9月10日だが、9月になれば学校に通う子らが参加できにくくなるし、そうなれば母親なども家を出に

くくなると思うので、8月の夏休みに白寿の祝いを、百歳の祝いとして江郷の一族と、信徒総代など主な信奉者にも出席して貰い、祝いの会を教会で持った。祝いは、大変盛り上がり、8時頃かに母に二階に上がって休むようにと誘ったが、母は動かない。ま、いいかと言うことで、延々カラオケなども続いて、もう夜の11時になるよと言うことで、お開きにして貰った。

母に喜んで貰ったことは、本当に嬉しいことであつたが、翌日隣のお宅から大目玉を食らった。私も百々代も、平謝りに謝った。以来、なぜか、大祭でも、何かの行事でも、誰もカラオケに誘っても乗ってこなくなり、カラオケの機械はお休みが続いている。

さて母は、それ以降もずーっとお元気で、百歳の誕生日を迎えるのではないかと思っていたが、8月の終わり頃、急に氣力がなくなりかかりつけの病院の医師に来て頂くとすぐ入院と言ふことになり、病院の人となつた。老人ホームの人とも、入所の相談を重ねていて、百歳の誕生日が過ぎたらと、いよいよと考えていたが、その直前で入院、結局老人ホームの人には退院出来た時にとお願いすることになり、結局ホームに入所することがなかった。

病院では、入院しながら百歳を迎え、総理大臣の賞章のようなものを頂き、その人達と、病院に看護師さんや、なぜか老人ホームの人にも駆けつけてくださり、家族で、声だけだったが、

おめでとうと祝った。

そして、百々代は毎日病院に行っていたから、そのまま病院で、危篤ですからと言われ、連絡を受け、病院に行ってみると、死んでいるのか生きているのか、暫くすると医者に来てご臨終ですと言われた。

これは回顧談だが、今日のコロナ騒ぎの時でなくて良かった、神様から大きなおかげを頂いたと百々代と話している。

(江郷)

十勝教会

池田町旭町一丁目九番地二二
TEL 〇一五五七一一三三三
FAX 〇一五五七一四二二三

つい先日、私はある会議に出席したのであります。その会議の案内には「マスク着用でお願いします」と

注意書きがあり、ちゃんとマスクも同封する心配りと徹底ぶり！

会議当日、教会の御用を済ませて「さあ会議へ行こう！」と時計を見ると、もう開会まで時間がないじゃない。急いで身支度を調え、車に飛び乗り会場へ。駐車場に車を止めると同じように会議に出席する方々がチラホラと。みな「マスク」を着けて車から降りてきますな：「あ！マスク忘れた」

会議場は当然「3密」対策を徹底。換気のために窓もオープン（さすがに氷点下じゃないけど四月初旬だぜ！）。出席者は距離おいてポツンポツンと座る。だいたい四十人、みんなマスク、マスク、マスク：そんな中一人だけマスク無し。私の：もう会場内で浮き

まくり。対面に座っている主催者の視線がイタイ！

その時私は自分に言い聞かせました。「私は貝となつて口を閉じていよう。今日の会議は意見があつても一切発言せずにいよう」。

こうして私はセルフ言論封じを決行したのです。まあ、この日の会議はまったく問題も無かったので首を縦に振ればいいだけだったのですが。

にしても生活のあらゆる面にコロナの影響が現れていますね。マスク騒動や休業問題は言わずもがな、スーパーへ行くと高級食材の値段は下がったけど普通の野菜の値段が高騰して目が眩になり、自転車屋さんに行くとき「中国の工場が止まっててパーツが入らないよ」と言われる等々。みんな

つまでこの状況が続くんだらうかと不安を隠せない。

マスクをしていない人に腹を立て、臨時休校中の子供が公園で遊んでいたら腹を立て、有名人が早めにPCR検査が出来たのは何故だと腹を立て、患者さんの治療に当たる医療者を差別するとか、もう思いやりとか相手を心配するとか共感なんかよりも不安が全てに勝ってしまう。ある国のトップなんかは感染対策失敗の責任を他の国に押しつけようとしたりして：

でもそういう人は意外と少なく、声が大きいから目立つだけ。ただし、他の人はそういう大きな声につられてしまいがち。

こういう時だからこそ必要なのは共に助かるということ。だから、声の大きい

人たちに惑わされず「私もみんなも共に助かる」という信念を持てるようにしないといけないのです。

そう、せっかく金光教に御縁をいただいているのだから、お取次をいただいて、みんなでコロナウイルス感染症の終息を願って、和賀心でおかげを受けて、こういう困難な時代を生きぬく力をいただきたいな」と思いませんか？
(玉置)

各教会大祭日程

春 秋

釧路	5月24日	10月18日
北見	5月3日	11月3日
十勝	4月19日	11月15日
帯広	4月26日	11月8日
網走	5月17日	10月25日
滝上	6月7日	11月1日

行事報告

▼令和元年度役員会

・日時 令和元年11月24日

・場所 北見教会

・内容 役員改選

令和元年度活動中間報告、会計中間報告

令和二年度活動計画案、予算案

▼役員改選

・会長

矢代千春(北見)

・副会長(教師)

菊川松次郎(網走)

・(信徒)

清水 優(滝上・信徒会委員長・金光新聞通信員)

・会計

玉置 衛(十勝)

・運動推進員

玉置みよ子(十勝)

・役員(教師)

江郷繁樹(釧路) 田中敬一(帯広)

・(信徒)

池亀徳和(釧路) 新谷道雄(北見) 三寺邦宏(十勝・監査)

長谷川公一(帯広) 新谷哲也(網走)

▼令和二年度総会について

・すでに教会にはお知らせしておりますが、新型コロナウイルス感染症対策のため今年度の総会は「書面決議」にて執り行い、議案の承認されましたのでご報告いたします。行事等の案内につきましてはその都度ご連絡をさせていただきます。

お知らせ

7月に予定されていた
十勝教会の100年記念祭は
来年に延期になりました。



道東地区教会連合会ホームページ
(PC用)

<http://kontoka.webcrow.jp/doto>